

認知症サポーター養成講座 を受講してみませんか？

ご存じですか？

認知症とは、様々な原因から脳の細胞が壊れてしまったり、働きが悪くなったために、色々な障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態がおよそ6か月以上継続している状態を言います。

65歳以上の4人に1人が認知症の症状が出ていたり、その予備軍だと言われていきます。高齢化がますます進んでいく中、認知症は誰でもなる可能性がある病気です。



認知症サポーターキャラバンのキャラクター「ロバ隊長」↑



認知症サポーターって？

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族の応援者のことです。認知症サポーターになったからといって特別なことをする訳ではなく、ご自身の生活の中で、温かく見守るのが、認知症サポーターの役目です。

「認知症になっても安心して暮らせるまち 草加」を目指し

草加市では認知症サポーター養成講座を実施しています。

草加市には現在、約13,700人(令和5年7月時点)の認知症サポーターがいます。

平成29年からは、市内の小学校の授業の中で認知症サポーター養成講座を実施し、小学生サポーターも誕生しています。

まずは認知症について、一緒に学んでみませんか？

●認知症サポーター養成講座とは？

認知症の正しい理解、啓発のために「認知症って何？」「どう接したらいいの？」など、分かりやすくご説明します。

認知症サポーター養成講座を受講された方には、認知症サポーターの証である「オレンジリング」をお渡しします。



↑ オレンジリング



●講座のご案内

【内容】(一例)「認知症とは？」「認知症の症状」「認知症の方への接し方」など

【講師】専門の研修を受講し、認知症に対する正しい知識等を伝える「キャラバン・メイト」が講師になります。

【時間】1時間30分

【費用】無料

※ 開催日は、「草加市ホームページ」などでお知らせします。



草加市高齢者応援サポーター
そうたくん

【お問い合わせ先】 草加市 地域介護課 地域支援室

電話:048-922-2862(直通) FAX:048-922-3279